

上越市議会議員 宮崎朋子

— ミヤザキトモコ ギカイツウシン —

議会通信

◆12月定例会

～補正予算内訳／定例会を終えて～

◆宮崎ともこの一般質問

- ①市民の不安にどう応える？～当市の鳥獣被害対策～
- ②災害に強いまち～感震ブレーカーについて～
- ③上越市の防災部局、防災会議への女性登用を望む

◆地域の今とこれから

- ① 上越市空き家条例が改正されました
- ② 県内初。「学びの多様化学校」の設置に向けて

◆議員活動奮闘記

～あえて、をやってみる！～



Vol,18

発行月 2025年1月

所属

- 会派 つなぐ 代表
- 厚生常任委員会
- 議会運営委員会副委員長
- 災害対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟副会長
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 防災士議連
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会
- 飯山・牧間県道昇格並びに整備促進期成同盟会

市民のために果敢
に取り組みます！

今と未来のための
福祉政策を推進！

新しい議会運営に
取り組みます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

表紙の色「オレンジ」
誰かを助ける気持ちや仲間を意味
する色。

事務所

- 〒943-0231
新潟県上越市三和区鴨井471
- 携帯 090-3545-6087
- ✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp
- ☎ FAX 025-333-0424

動く！しゃべる！動画チャンネル
「B面ともこ」配信中です！

パソコン、携帯、スマホからは非ご覧ください。

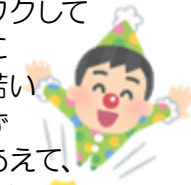
YouTube B面ともこ



宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～あえて、をやってみる！～

今年は、なんと年女。12年前はちょうど市民団体を立ちあげようかどうしようか思案の最中でした。でも、なんだかワクワクしていた自分を思い出します。そして昨年は、自身の考え方にコリやオリがあるなあと実感。気付かせてくれたのは、若い人達。議員の仕事は、先入観を持たず傾聴することがまず一步。今まで苦手だった（と思い込んでいた）ことを、あえて、やってみることで、新しい宮崎とを創りたい、2025年です。



活動記録（10/11～1/10）

- 市内行事参加・見学（上越市総合防災訓練／えちご・くびき野100kmマラソン応援／美守小学校、上杉小学校、里公小学校閉校記念式典出席／三和商工会臨時総会出席／さんわ文化祭見学／上越市農業フェスティバル見学他）
- 市民要望の調査、立会等（教育・防災・土地利用・道路・河川他）
- 調査研究（市内コミュニティバス／道路除草／地域医療構想／廃校利活用／農業の地域計画他）
- 三和区国県道、河川合同要望会出席
- 県道新井柿崎線要望、県庁へ（11月25日）
- 代表者会議（1回）
- 議会運営委員会（2回）
- 議会改革推進特別委員会（3回）
- 所管事務調査（上越地域医療センター病院の改築について他）
- 視察研修（会派／議会改革特別委員会／災害対策特別委員会）
- 広報公聴委員会出席（11月5日） ● 会派勉強会（2回）
- 委員会傍聴（文教経済・農政建設・総務）
- 議員勉強会（エリアリノベーションとこれからの高田）
- 議会通信発刊（10月）
- 12月定例会（12月4日～18日） ● 厚生常任委員会
- 一般質問（12月12日） ● 議会報告会（14ヶ所） 他



田んぼタムの仕組みなどを聞きました。（上越市農業フェスティバル）

3つの小学校の閉校記念式典。気球、記念碑、記念ラベルなど、どれも心温まる内容でした。（三和区）

地域の今とこれから

◆上越市空き家条例が改正されました。

上越市の空き家は2517戸（うち、特定空き家は216戸、管理不全空き家は628戸）とのこと。管理が行き届いていない、または放置された状態の空き家は、地域の治安や景観、環境にも大きな影響を及ぼすことになります。この度、国では空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正が行われ、その目的は、空き家等の活用促進と、管理不全空き家への対策、それに伴う財政・金融・税制の支援など。これにより①行政が所有者に対し、指導及び勧告することができる。②緊急に除去等の必要な措置を行うときは、命令等の手続を経ずに、代執行を行うことができる。など行政の対応も拡大しました。冬場は雪による倒壊などの恐れもあります。目が行き届かない地域が無いよう、議員も目を向けてまいります。



◆県内初。「学びの多様化学校」の設置に向けて

上越市においても、学校に行きづらい児童生徒は年々増加しており、特に中学生の割合が多いとのこと。市議会でも、勉強会を発端に幾度もこの「学びの多様化学校」について質疑がなされました。上越市では、検討委員会が開かれ、12月議会において、その設置に向けて動き出すことが示されました。対象は市内の中学生。また、生徒の特性を考慮しながらの少人数制（1学年6～8人程度）で、雄志中学校の分校として、市街地から通いやすい諏訪小学校（令和6年度閉校）を予定。今後は文科省への設置方針を報告後、内容の検討、施設整備や専門の教職員の配置調整、保護者説明会等を経て、令和8年度開校を目指します。学びを真剣に考える、そんな節目になりそうです。



12月定例会

～令和6年度上越市一般会計補正予算を審議しました～

(12月定例会より抜粋)

補正額 1,086,222,000円

総額 108,115,547,000円

どんなことに使うの？（補正内訳）

- * イベント推進費（10,526,000円）→令和7年度実施予定の第100回高田城址公園観桜会及び謙信公祭第100回に関わる各種記念事業の準備経費として。（謙信公祭ゲスト招へいなどを予定）
- * 市立小学校のエレベーター設置等の改修経費の補正（22,348,000円）
- * 市立小中学校及び幼稚園の給食食材費の不足分を増額補正（89,618,000円）→米などの物価高騰の影響
- * 名立区、安塚区における地すべり災害の復旧経費等の増額（62,800,000円）
- * 特別障害者手当等の給付や療養介護医療費等の増額→当初の見込みを上回ることから。
- * 上越市病院会計事業補正予算（第2号）→医業費用の不足（患者数の増加、物価高騰等）



春の高田城址公園
(上越市立歴史博物館側から)

定例会を振り返って

1、今後の自治体運営は、挑戦と苦渋の決断が大事

- 市の下水道事業が、ガス水道局に移管となりました。窓口や事務が一元化されることで、より市民へのサービス向上を期待するところであります。
- 旧上越市物産センターが、公募型プロポーザルを経て新潟けんこう財団に譲渡されることとなりました。（事業は令和8年1月から開始予定）
- この度は、廃止される子どもプールなどについて質疑がありました。いずれも「地域の意向をお聞きして」との答弁ですが、過疎化や高齢化で、そこに判断を委ねるだけでいいのか？と感じた次第です。

●コロナ禍を経て、気がつけばどこも人手が足りません。行政サービスにおいてもそれは同様。加えて「公」である以上、市民全員に公平なサービスの機会が求められます。今後の地方自治体運営は、挑戦と苦渋の決断を市民のために、ブレずにやりきる力量が問われていると感じました。

2、市民の声のその先に ～意見書・請願・陳情の重さ～

- 上越地域医療センター病院の改築の延期が伝えられました。
市の説明では、コロナ禍の患者数の減と、収入を上回る諸経費（人件費や医療資材等）の高騰が理由とのこと。また、現段階での改築は、毎年4億円の市の補填が必要になるため、改築の検討をあと2年延期したいとのことでした。そこには、今後の財源確保や、国の診療報酬改定も期待されています。
おりしも、この病院の経営強化プラン（令和6年～9年）が9月に提出されたばかり。私自身も、平成30年の「上越地域医療センター病院 基本構想策定委員会」の委員として、この病院の重要性や改築に係る課題などは十分に理解しているつもりでした。
所属する厚生常任委員会において、私からは下記の点について問いました。
①これまで踏み切るチャンスはなかったのか？→コロナ禍は想定外だった。
②築年数は大丈夫なのか？→50年以上の病棟もあるが必要な修繕はしていく。
③これまで地域住民への説明はきちんとしてきたか？→近年は地域へ出向いて説明している。
その後、議員から早期建設を求める意見書も提出され、私自身は、この病院の改築は大前提のもと、現段階では市民への財政負担が大きいこと、上越地域の医療再編の中での、より効果的な改築を目指すべきではとの考えから、反対とさせていただきます。今後も私たち議員は、現在の病院の環境整備と建物の修繕は急務と考え、市に強く求めてまいります。

●この度は、「持続可能な学校の実現をめざす」現状の教職員の職場環境の改善を求める請願も出されました。請願・陳情・意見書等は市民の声。議員の判断一つで、大きく変化することもあります。大事なのは判断した後、その課題をどう追求していくか。これからも深く考え、悩み、真摯に取り組んでまいります。

詳しくは、上越市HP及び、かけはしをご覧ください → <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

宮崎ともこの一般質問

1 近年深刻化する鳥獣被害、対策は大丈夫ですか？



Q 国が令和6年4月にクマ類（四国を除く）を新たに指定管理鳥獣に加えた。これにより何が拡充されるのか？市民は、出沒件数が増えていることに不安を感じていると思う。当市における鳥獣出沒の傾向はあるのか？

A 国から具体的な制度等は今後示されるので、その後検討していきたい。専門家によると、頭数変化は見られないが、近年は、私たちの住む近くに出沒する頻度が高くなっているのではないかと聞いている。

Q クマの行動範囲等がわからなければ、市民も正しく恐れて対策をすることができない。「クマ類の出沒に対応する体制構築事業」（令和4年～6年度）の活用と、その分析はどうか？

A この事業は、環境省に採択されたもので、報告書では、特定された出沒経路を参考とした緩衝帯の整備候補地などが示される見込みである。クマの生態も少しずつ変化していると思う。引き続き対策をしていく。

Q 今や人的な対応だけでは限りがあると考え。デジタル技術を駆使した監視体制も必要では？

A また、市職員の鳥獣出沒確認では、遭遇する危険も想定される。クマ避けスプレーや盾などの装備品も必要ではないか？

A 当市では、はこ畠等による捕獲の通知・確認においてIT技術を導入しているが、デジタル技術は、その精度や利便性、費用対効果等をみながら研究していきたい。

Q 市職員による確認業務は、原則2人体制で車内からのパトロールを行なっている。これは早朝深夜を問わずであるが一方で、担当職員に一定の負担が掛かっているため、マニュアル等の見直しを行いながら、装備品の充実も含めた、危険性や負担の軽減に努めている。

A 長岡市では、町内会や農業関係者を対象に、「柿・栗などの不要果樹の伐採費用補助制度」があり、申請も多いと聞く。そのような制度の検討を望むかどうか？

Q これまでも、鳥獣が出沒しにくい集落環境診断等で、町内会等に取り組んでいたのではないので、その考えは持ち合わせていない。他市の事例も研究していく。

2 さらになる防災・減災対策。感震ブレイカー設置の補助制度を望むがどうか？



感震ブレイカーの仕組み。
(上越市防災総合訓練にて)

Q 感震ブレイカーとは、震度5強以上の揺れに反応し、ブレイカーを自動的に落とす装置。これは、火災発生抑制や延焼防止、地震発災後の電気復旧時の通電火災を防ぐ役割がある。この設置に係る補助制度を望むがどうか？

A 市では、住宅用火災報知器と合わせた調査の実施を同消防局と進めていく予定。この感震ブレイカーは様々で、簡易タイプでは設置費用も安価で工事も不要。市民の負担も少ないので、補助制度による支援の考えはないが、今後も設置の普及啓発に取り組んでいく。

3 市の防災部局や、防災会議への積極的な女性登用を望むがどうか？

A 当市の防災会議では、37人中女性委員は1名。女性の視点は、災害時や復興に重要。まずは、女性が意見を言える場に、一定数があることが重要と考える。他市では、子ども課や福祉部が、民間では、旅行会社や報道などから女性が参画している。市の考えはどうか？

Q 女性の推進が必要と認識している。今後は、女性委員から審議に参加してもらえるよう、その環境整備に向けて検討していく。

力を合わせて調査研究！ 地域コミュニティバスの現状

市内各地で展開される予約型コミュニティバス。私も、快適に移動できる地域を目指して取り組んでいます。現地にて、同僚議員3人とお話しをうかがいました。

- ◆東頸バス株式会社様へ（浦川区、大島区、牧区）

特に浦川原区の利用者は、半年で1000人以上（令和6年4月～9月）と住民への浸透率がわかります。最大10人乗りのバスは、低いステップで、ご高齢の方でも安心。予約での運行管理は大変ですが、リピーターも増え、住民との信頼関係が築けていると感じました。



- ◆中郷区まちづくり振興会様へ
こちらは、住民アンケートを経て、令和7年4月の運行を目指しています。特に、妙高市への移動ニーズも多いとのことでした。

三和区においても以前より、「みんなの足」が区内の移動に役立っています。私も地域特性に合わせた細やかな移動手段の構築のために尽力してまいります。

― 議会の様子はこちらでどうぞ（本会議/委員会等） → joetsu-city.stream.jfit.co.jp